

環境に関する表彰者を紹介



地域環境保全功労者表彰
(環境省主催)

村上 實さん
(85歳、附馬牛町)

平成2年から、遠野市自然保護指導員として活動し、25年にわたり荒川高原(附馬牛町)のパトロールや訪れる人への環境保全指導を行うなど、自然環境保全への普及・啓発活動に尽力しました。村上さんは「地域の皆さまの協力があったからこそ受賞できました。これからも日本のふるさと遠野の自然を見守る活動を続けていきたい」と受賞を喜びました。

いわて地球環境にやさしい事業所表彰

遠野精器(株)松崎工場

(藤原昭夫代表取締役)



環境に配慮した取り組みを評価する「いわて地球環境にやさしい事業所」に遠野精器(株)松崎工場が最高ランクの四つ星に輝きました。本社工場に続き2度目の受賞。電力量や紙の削減など、CO2の排出抑制への積極的な取り組みが評価されました。藤原代表は「今後も従業員が一丸となり、環境保全活動に取り組んでいきたい」と決意を新たにしました。

人権擁護委員を紹介

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する民間ボランティアです。地域で人権が侵害されないよう、相談に応じたり人権の考えを広める活動をしています。7月1日付けで委嘱された4人を紹介します。※任期は平成29年6月30日まで



新 島山 信秀
(64歳、松崎町)



再 佐野 三千代
(65歳、上郷町)



再 中浜 清輝
(65歳、上郷町)



再 荒田 美知子
(65歳、東館町)

人権相談実施中▶▶▶

■場所・日時 市民センター／毎月第2火曜日 宮守総合支所／毎月第3金曜日 ※いずれも10時～
■問い合わせ 市市民協働課(☎62-4411内線203)

レクリエーションで楽しみながら交流を深める生徒



↑語り部となり、地元につながる昔話を披露する西米良中生



本市の友好自治体である宮崎県西米良村の西米良中の修学旅行生17人は7月9日、遠野西中を訪れ、両校の生徒はレクリエーションなどを通じて友情を深めました。西米良中の生徒は、スライドを使って地元の特産品や郷土芸能、学校の特色などを紹介。また、語り部として西米良村に伝わる昔話なども披露しました。遠野西中の生徒は

合唱やエールで修学旅行生を歓迎。自己紹介ゲームなどのレクリエーションも企画し、交流を深めました。西米良中2年の黒木麻衣さんは「遠野に滞在し、西米良と遠野の絆の深さを実感できました」と。遠野西中2年の多田遥香さんは「西米良村に興味を湧かされた。機会があったら訪れてみたいです」と夢を膨らませました。

西米良中の修学旅行生が来遠 遠野西中学校で交流深める

高校生らがフィールドワーク 人馬の新たな暮らしを学ぶ

フィールドワークを通じて人、馬、自然の共存を考える「馬とくらしオフキャンパス」(市など主催)は7月12日、附馬牛町の現代風曲り家「クインズメドウ・カントリーハウス」(田瀬理夫代表)などで行われました。遠野高校の生徒や市外の学生ら30人は、同ハウスの取り組みや馬との触れ合い方を学び、馬との暮らしの魅力を見ました。

同ハウスは、馬を林間に放牧し、その堆肥を使って無農薬で栽培したお米や野菜などを提供する宿泊施設。人にも環境にも優しい、馬のいる新しい暮らしを提唱しています。フィールドワークでは、施設周辺を散策しながら職員がその取り組みを紹介。また、参加者は同町の荒川高原牧場を訪れ、放牧されている馬と触れ合いました。新里華子さん



荒川高原牧場で馬と触れ合う参加者

(遠野高3)は「馬に癒されたい。人と馬との暮らしは、遠野の魅力として大切にしたい。必要があると思います」と笑顔で話しました。

Anniversary

岩手東亜DKK創立40周年

(昭和48年8月設立)



40th anniversary

岩手東亜DKK(株) (綾織町、伊東正志社長)の創立40周年を祝う集いは7月5日、あえりあ遠野で開催されました。従業員や商工関係者など40人は、これまでの歩みを振り返り更なる発展を誓いました。同社は、高品質の水質測定機器の製造を手掛け、市内の雇用創出に貢献。また、市内の学校に水質計を贈呈するなどして、子どもの環境学習にも協力しています。伊東社長は「地域に根ざした企業として、さらに発展させていきたい」と抱負を語りました。

ふれあいホーム薬研淵開設20周年

(平成6年7月開設)



20th anniversary

遠野市社会福祉協議会(臼井悦男会長)が運営する通所介護施設「ふれあいホーム薬研淵」(松崎町)の開設20周年を祝う記念式典は7月12日、遠野健康福祉の里で開かれました。施設関係者や市職員など150人が出席。臼井会長は「今後も地域の人々が安心して利用できる施設運営を心掛けたい」と決意を新たにしました。式典では、施設運営に協力したボランティアなどに感謝状が贈られたほか、遠野北小の児童が薬研太鼓を披露し、節目を祝いました。



上/毛布を使い人が搬送 右上/土のうづくりも体験しました 右/初期消火訓練。真剣なまなざしで実践



上郷町9区の自主防災組織は7月13日、同町の平野原コミュニティ消防センターなどで防災訓練を行い、市内の自主防災組織の代表者で構成する同連絡会のメンバー29人はその様子を視察しました。震度5強の地震が発生したことを想定し、住民は各地区の一時避難所に集合。被害の報告、近隣住民と災害時要援護者の安否確認、救急・救護訓練などを実施しました。このほか、毛布を使って人が

隣の地区の活動から学ぼう！ 自主防災組織連絡会が視察

を避難所まで運ぶ搬送訓練や初期消火訓練、水防訓練、防災〇×クイズも実施。参加した住民は、災害時に自主防災組織の一員として地域で果たす役割を確認しました。また、同連絡会のメンバーらは視察を踏まえて意見交換を行いました。今後の活動のあり方を探りました。参加した菊池トミさん(76歳)は「けがが人の搬送を實際にやってみましたが、思いのほか大変で、訓練の大切さが身にしみました」と振り返り、視察した菊池清治さん(62歳)は「訓練内容や実施方法など参考になった。自分の地域に持ち帰り、できることから取り入れていきたい」と抱負を語りました。

相談に応じます！

市は、自主防災組織の訓練や研修会への講師派遣、活動の相談に応じています。詳しくは市消防総務課(☎62-2119)までお気軽にお問い合わせください！